

米穀部

フレコン作業時の安全確保について

8月中旬以降の長雨で県内では稲の刈取りが大幅に遅れています。今後は出来るだけ早く刈取り作業を進めて下さい。(大豆・そばについても品質低下になる前に刈取りして下さい。)

全国的にフレコンでの集荷が増加しており、それに伴い荷役作業中の事故も増加しています。米の集荷のピークを迎えるにあたり次の【注意事項】を参考に労働安全衛生規則を遵守した適切な荷役作業を行って下さい。

フレコン荷役作業時の注意事項

- 1 フォークリフト、クレーン等の荷役作業はフォークリフト運転技能講習会修了者ならびにクレーン運転資格者および玉掛技能講習会修了者が実施すること。
 - 2 作業前には必ずフレコンの各部の異常がないか点検を行う。(吊りロープ・ベルトの傷・結束部の緩み・縫製糸の切れ・接合部の異常や破れ等)
 - 3 最大充填量を超える充填を行わない。
 - 4 作業中はフレコンの運動範囲に入らない。特に排出作業時フレコンの下に頭、体を絶対に入れないこと。
 - 5 吊り上げる際は吊部全体に荷重が均等にかかるよう吊り上げる。また、急激な吊り上げ、吊り降ろし、振り回し等は吊りロープ・ベルトの破損につながる恐れがあるとともに、片吊りは落下の恐れがあるため行わない。
- なお、全農取扱フレコンはメーカー製品性能試験の基準を満たしていますがフォークリフト等の扱いによっては事故が発生することもありますので作業時は十分ご注意ください。



フレコンの荷役作業

畜産部

第11回全国和牛能力共進会に向けた選抜委員視察研修会開催

全国和牛能力共進会は5年に一度、全国の和牛の能力を競う一大イベントとして開催されており、平成29年9月に第11回大会が宮城県で開催されます。

その大会に向けた本県の選抜委員である各JA若手技術者を対象に、平成27年9月12日(土)、宮城県総合畜産共進会の視察研修を行いました。

開催県の共進会ということもあり、各地域で選抜された出品牛が出揃い、出品者の意気込みもひしひしと伝わってくるなど、研修参加者は本大会へ向け、大いに刺激を受けた研修会となりました。

なお、県内においても平成27年9月8日(火)より本大会出品を目指す候補牛が続々と産まれてくる予定であり、それに伴い今後の出品対策も本格化してまいります。

若し技術者においては、今後も生産者とのコミュニケーションを密にし、諸先輩方が培った経験や技術をご教授いただきながら、全国大会で福島牛の実力を如何なく発揮できるよう取り組んでまいります。



会場にて審査の様子



牛舎にて出品を待つ繁殖雌牛

10月にお届けする材料を使用したレシピです

JA ぐれあい 食材
おすすめ
レシピ

ニシンのアクアパッツァ



●材料は2人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材料

- ・ニシンフィレ.....4枚
- ・にんにく.....1片
- ・塩・こしょう.....各少々
- ・オリーブオイル.....大さじ1
- ・ミニトマト.....10個
- ・白ワイン.....50ml
- ・玉ねぎ.....1/4個
- ・刻みパセリ.....少々

作り方

- 1 ニシンは解凍し水気を拭きとり両面に塩・こしょうを振る。
- 2 ミニトマトは耐熱皿に入れてラップをし電子レンジで2分加熱する。
- 3 玉ねぎは薄切り、にんにくは薄くスライスする。
- 4 フライパンにオリーブオイルを入れて熱しニシンを皮目から焼く。両面焼き色がついたら玉ねぎ、にんにく、②のトマトを汁ごと加え、白ワインを回し入れて蓋をして10分弱火で煮る。塩・こしょうで味を調え、最後にパセリを散らす。

今月のイベント

- 10月10～12日(園芸部) 収穫祭 愛情館
- 10月28～30日(営農企画部) 福島産直市 新米フェア JR秋葉原駅
- 10月29日(営農企画部) 福ふく市 ぷらっと築地

ラジオ福島

午前5時15分～25分
放・送・予・定

「農家の皆さんへ」

- 10月5日 営農企画部 全農広報活動について
- 10月6日 米穀部 営農相談室
- 10月12日 畜産部 肉牛販売情勢について
- 10月13日 園芸部 営農相談室(品目提案について)
- 10月19日 園芸部 種苗情報
- 10月26日 米穀部 27年産米集荷状況について

編集後記

食欲の秋です。子規の「新米や何はともあれいたゞきて」は新米の香りと甘みが思い出され、お腹がグウルルとなりそうな句です。美味しく炊くコツは、さっと洗ってすぐ水を捨てることにあるようです。「精米機の性能が向上し『研ぐ』から『洗う』とすべきだ」と女子大学教授の知人が力説していました。

「水田稲作の伝来は朝鮮半島からではなく、紀元前千年頃に長江下流域から直接北九州に伝来された」国立歴史民俗博物館の研究です。炭素14年代測定法により通説が見直しされています。弥生の始まりは春秋戦国時代ではなく、殷が滅亡した頃となるようです。「古代中国の興亡と稲作の伝来」・・・秋の夜長にぴったりですね。月を見ながら会津山塩でおむすびを握ります。何はともあれ新米はシンプルにいたゞきて。

東北地方の長期予報

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり低くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるとでしょう。東北日本海側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月の降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率50%です。2週目は、低い確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

9月26日～10月25日			
【気温】	40	30	30
【降水量】			
・日本海側	20	40	40
・太平洋側	30	40	30
【日照時間】			
・日本海側	40	40	20
・太平洋側	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

9月26日～10月2日			
・東北地方	50	40	10
10月3日～10月9日			
・東北地方	50	40	10
10月10日～10月23日			
・東北地方	20	40	40

凡例： 低い(少ない) 平年並 高い(多い)
(仙台管区气象台 発表)